

2014-2015年度 合同地区委員会 報告

地区代表幹事 **川上 富清**
(大阪帝塚山RC)

7月19日(土)、肥後橋YMCA会館において、2014-2015年度のための合同地区委員会が開催されました。

合同地区委員会は、年度の初めにあたり地区の各委員会が今年度の活動計画を発表する場です。まず、泉ガバナーより「クラブ活性化」のためにと題して、下記の挨拶がありました。

地区委員会の目的は明確に一つであります。それは「クラブの活性化」にほかなりません。ただ、クラブの活性化の方向は一つではありません。様々なクラブの特徴を活かした活動を支援しなければなりません。そのために、様々な委員会の活動があるのです。

すべてのクラブで均等にロータリーの奉仕がなされるのではなく、そのクラブの、構成、生い立ち、方針により、様々な活動がなされることによって、地区全体として大きな活動が達成されるわけであります。ひとつの大きな力に頼ることなく、それぞれのクラブがそれぞれの形で、ロータリーの活動をすることを支援するのが、皆様、地区委員会の役割であります。一つのクラブが、少なくとも一つ、情熱をもって実施するロータリー活動を支援していただきたいのです。

本年度は38件の地区補助金を活用した奉仕活動、19クラブの提唱によるローターアクト、本年度より1件増えて7クラブの提唱によるインターアクト、37名の米山奨学生、10名の青少年交換、ニコニコキャンプ、2回のライラ、その他さまざまな活動が予定されております。その活動を実のあるものにしていた

だくのがその担当の委員会の役割であります。

また研修委員会や職業奉仕委員会のようにロータリアンとしてのあり方を特に、新入会員の皆様に周知していただくのも、委員会の役割であります。また、そのどれも活動していないクラブに対し適切に支援するのも、委員会の役割であります。積極的に「クラブ活性化」のための活動をお願いいたします。

その後、各委員会委員長より、今年度の活動方針の発表がありました。

今年度の新しい試みとしては、2016年に開催される規定審議会への各クラブや地区委員会からの立法案の提出をサポートするために、横山PGを委員長に迎えて2016年RI規定審議会・地区委員会が発足しました。また、ホアンRI会長の提唱されているロータリーデーを実践する為、地区として8月12日の若手ロータリアン研修セミナーと2015年5月5日のロータリーフェスティバルを企画し、ロータリーフェスティバルは近藤PGを委員長に迎えて実行委員会が結成されました。

各委員会から、熱のこもった方針発表が相次ぎ、質疑応答の時間が取れなくなり、ご迷惑をおかけしました。地区からは、ガバナー事務局の人員の入れ替えがあり、地区委員会の担当事務局員が交代するなどの事態がありうることを説明させていただきました。

最後に、立野ガバナーエレクトからご挨拶をいただき、合同地区委員会を閉会いたしました。

